

# 美術科教育における

## 〈学習者×教師〉

— 質の高い授業構築をめざして —

■ **開催日** 2017年1月7日(土)、午後1時30分～4時30分(受付開始:午後1時15分)

■ **会場** 京都テルサ・東館2F(京都市南区東九条下殿田町70番地, 地図は裏面)

■ **参加** ・無料。学会員以外の方も参加できます。できるだけ事前申込をお願いします。  
・参加申込メール宛先: [artedu.kyoto@gmail.com](mailto:artedu.kyoto@gmail.com)  
12月26日までに上記アドレス宛に, 下記の必要事項を記入してご送信ください。  参加申込宛先QR  
(件名「リサーチフォーラム申込/ご氏名」, 本文「ご氏名, ご所属(複数の場合は全員分)」)

■ **登壇者** ・研究発表: 隅敦(富山大学) + 安江有沙(白山市立明光小学校)  
竹内晋平(奈良教育大学) + 長友紀子(奈良教育大学附属中学校)  
藤井康子(大分大学)  
・指定討論者: 山口喜雄(前宇都宮大学)  
・ファシリテーター: 三根和浪(広島大学)

■ **趣旨** 児童・生徒にとっての豊かな学びのある授業づくり, それを支える教師の授業力向上は, 図画工作・美術科においても重要な課題であると考えます。本シンポジウムでは, 学習者間および学習者・教師間で成立する言語等を含めた様々なコミュニケーションが, 図画工作・美術科の学びにどのような効果をもたらすのかを探ります。そして, 美術の学びにとって有効な指導のあり方について, 登壇者およびフロアの皆様との間で幅広い議論を進めたいと思います。

■ **主催** 美術科教育学会

■ **共催** 科学研究費・基盤研究(C), 「教科学習に対する若手教員の授業力向上に資する基礎的研究～実技教科を中心に」(代表: 隅敦)

科学研究費・基盤研究(C), 「教科目標への到達と感性の育みを促す言語活動等を視点とした美術科教育の基盤的研究」(代表: 竹内晋平)

■ **後援** 京都市教育委員会

## ■ 登壇者紹介 (50音順)

**隅 敦 (富山大学)** 広島大学大学院博士課程後期単位取得満期退学。修士(教育学)。公立小、国立小に合わせて21年勤務した後、指導主事を経て現在大学教員。若手教員の実技教科の指導力向上に関する研究を行っている。論文に「図画工作科に対する教科観の相違と教員養成の果たす役割 - 20歳代と50歳代の現職教員対象の聞き取り調査をもとに -」(美術科教育学会『美術教育学』36号)など。

**竹内 晋平 (奈良教育大学)** 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。博士(美術)。公立・国立小学校に13年間勤務の後、教育学部で美術科教育を担当。授業研究の他、美術教育史等にも着目。論文に「中等美術科教員養成における教職レディネスの形成」(大学美術教育学会『美術教育学研究』46号)、「京都府画学校関係者による毛筆画教育への関与(1)」(美術科教育学会『美術教育学』37号)など。

**長友 紀子 (奈良教育大学附属中学校)** 京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業。学士(美術)。制作と鑑賞、美術教育と美術の関係性に注目。論文に「ICT機器が可能にする協働的鑑賞学習の試み」(奈良教育大学『次世代教員養成センター研究紀要』1号)、実践報告に「中学校美術科・鑑賞題材の開発への実践的アプローチ」(奈良教育大学『次世代教員養成センター研究紀要』2号)など。

**藤井 康子 (大分大学)** 北海道教育大学教育学部旭川校卒業。東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)芸術系教育講座修了。博士(教育学)。専門は美術科教育。得意なことは絵を描くこと。近年は大分県、熊本県、福岡県、東京都の小学校教諭とALT(外国語指導助手)とともに図画工作科と外国語活動の協働学習について理論的・実践的に研究している。

**三根 和浪 (広島大学)** 広島大学大学院学校教育研究科修了。大学院在学中2年間の私立高(非常勤)、修了後4年間の公立中、8年間の国立小の現場経験を経て現在大学教員。専門は表現教育論、鑑賞教育論、美術教員の力量形成論。論文に「フィンランドの教員養成におけるクラフト教育 - ユヴァスキュラ大学学級担任教員養成のクラフト教育 -」(美術科教育学会『美術教育学』第29号)など。

**安江 有沙 (白山市立明光小学校)** 富山大学人間発達科学部発達教育学科学校教育コース卒業。学士(教育学)。平成26年度に石川県公立小学校教員として採用され、3年目の本年度は5年生の学級担任を務める。学生時代は、図画工作科ゼミに所属し、卒業論文は「図画工作科・美術科における、「用」「美」の両立を重視した題材の導入の必要性～ユニバーサルデザインに焦点を当てて～」。

**山口 喜雄 (前 宇都宮大学)** 横浜国立大学大学院修了。教職42年(横浜市立中3校19年、筑波大附小4年半、宇都宮大18年半、宇都宮大附小・校長)。「美術教師十年の軌跡」第21回教育美術佐武賞1986、造形教育事典編1991、学習指導要領美術作成協力者1998、20世紀後半の日本美術科教科書研究2008、日本教育大学協会全国美術部門代表代理2015、美術教育の世界ドキュメント+2015、定年退職2016。

## ■ 会場へのアクセス

### 京都テルサ (東館2F, セミナー室)

京都市南区東九条下殿田町70番地

- ・「JR京都駅(八条口西口)」より南へ徒歩約15分
- ・「近鉄東寺駅」より東へ徒歩約5分
- ・「地下鉄九条駅」④番出口より西へ徒歩約5分
- ・「市バス九条車庫」より南へすぐ



★ 参加申込メール宛先: [artedu.kyoto@gmail.com](mailto:artedu.kyoto@gmail.com)

★ 各種お問い合わせ先: [sumi@edu.u-toyama.ac.jp](mailto:sumi@edu.u-toyama.ac.jp) (隅敦)

[shimpei@nara-edu.ac.jp](mailto:shimpei@nara-edu.ac.jp) (竹内晋平)